

# 第5期 きらっとあさひプランってなあに？

旭区地域福祉保健計画の愛称です。  
身近なまちに知り合いが増え、  
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが  
地域の皆さんとともに取り組みます。



## 基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

### 1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

### 2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

### 3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

## 地区別 計画

地区ごとの課題  
に対する取組

## 区全域 計画

区全域に共通する課題  
に対する取組  
地区別計画を  
支える取組

きらっとあさひプランを  
みんなで話し合い、確認しながら  
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター  
あさひくん

一つひとつの取組が  
「安心して自分らしく暮らせるまち」  
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン  
マスコットキャラクター  
あさちゃん  
きらっとあさひプランの  
詳細はこちら



# 二俣川 ニュータウン地区

中沢一丁目※ 今宿町※  
中沢二丁目 中尾二丁目※  
中沢三丁目 金が谷二丁目※  
今宿一丁目  
今宿二丁目※

※ 他の地区にもまたがっています。

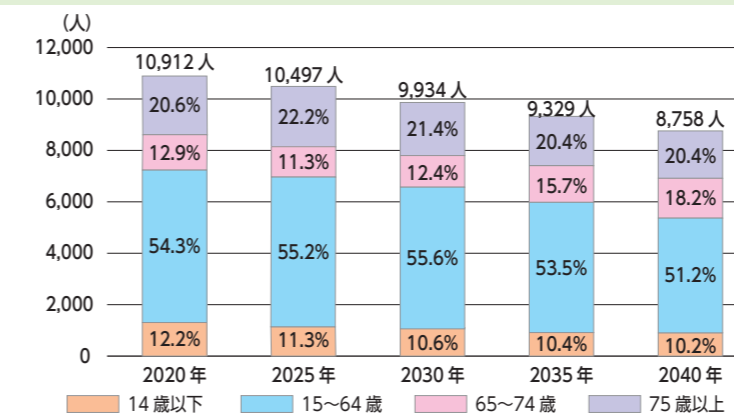


## あなたの まち は、どんなまち？

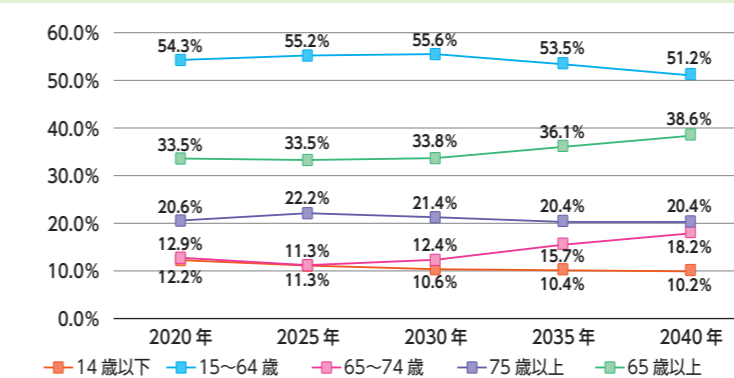
二俣川ニュータウン地区は、区中西部に位置し、県運転免許センターと保土ヶ谷バイパスにはさまれた区域で、東急不動産の「グリーンヒル10万坪街づくり」の開発により、1964年～1983年に宅地造成された住宅地です。1971年頃に連合町内会を創立し、住民の要望から「連合町内会館」及び「二俣川ニュータウン駐在所」が地区内に設置された経緯があります。なお、現在の連合町内会館は、地域が東急建設と用地交渉を行い、1982年9月に竣工しました。完成後、敷地は横浜市に寄付されています。

## 今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ  
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約10,500人で、  
今後は減少傾向で推移すると見込まれます。  
2030年には、14歳以下は10.6%、  
65歳以上は33.8%となる見込み  
です。

## 「住んで良かったと思える街ニュータウン」

### －誰もがともに、自分らしく安心して暮らせるまち－

夏まつり、大運動会、福祉まつり、もちつき大会、敬老のつどい等の行事を通じた多世代のつながりを大切にしています。若い世代も巻き込みながら、幅広く顔の見える関係を築き、お互いを尊重し、気かけながら、自分らしくいきいきと暮らしていきけるまち、「ふるさと」と呼べるまちを目指します。



#### これまでの取組

- 高齢者をはじめ住民の外出機会を増やすため、移動スーパーやコンビニ誘致を進めた。
- 「県立よこはま看護専門学校」の学生に体験学習の機会（かがやき（老人）クラブとの交流、福祉まつりでの健康体操・指導など）を提供したことで、学生と住民との多世代交流及び相互理解が進んだ。
- 全世帯に震災時の迅速な安否確認の「黄色い旗」を配布し、町内会に「災害時ご近所集合場所」のプレートを設置した。2024年の防災訓練では、全町内会で黄色い旗の安否確認、ご近所集合場所への参集等を取り組み、災害発生時の避難行動の確認ができた。
- 連合町内会の専門部「子ども活動・行事支援部」で、子どもたちの活動を支援した。

#### 目標と主な取組

##### 目標 A 「見守り」外出機会を増やし、顔見知りを増やす

- ▶ 「災害時要援護者名簿」の100%掲載を目指し、見守りの充実方法の検討を行います。
- ▶ 既存の地域活動の活性化・組織拡大に向けた支援策を実施します。
- ▶ 常設サロン（蒔ぎ会、お茶べりサロンさんさん、サロン・あさひ、わいわいクラブ、しおんカフェ）をより充実します。
- ▶ コンビニを誘致し、地域住民の外出や買い物の機会を増やします。
- ▶ 高齢者等をはじめ住民の安全な外出について、周辺地区と協力して取り組みます。

##### 目標 B 「担い手」「新たな人材の発掘」多世代の参加・活躍

- ▶ 行事開催に必要なボランティアの募集、既存のボランティア活動の担い手や人材などの確保への支援を行います。
- ▶ SNSなどを使い、若い世代をはじめ、多世代が参加しやすい仕組みを検討し、実施します。
- ▶ 大地震などの災害時に必要なボランティア確保の方法を検討します。
- ▶ 「ニュータウンだより」等を活用し、ボランティア活動の紹介に取り組みます。

##### 目標 C 「広報」必要な情報への容易なアクセス

- ▶ 連合町内会と地区社会福祉協議会が協力して「ニュータウンだより」を発行します。
- ▶ 「連合町内会」「地区社会福祉協議会」のホームページを充実させ、地域の行事やボランティア活動の情報等を積極的に掲載し、地区の内外に発信します。

##### 目標 D 「防災・防犯」安心して住み続けるために

- ▶ 「地域防災拠点」「連合防災部」「町内会」が連携し、大地震発生に備える支援に取り組みます。
- ▶ 自助（家屋の耐震・家具の転倒防止、食糧・簡易トイレ等の備蓄）を応援します。
- ▶ 共助（町内会による発災時の安否確認・避難生活の協力等）の充実をはかります。
- ▶ 「災害時要援護者・災害弱者」等への対応と支援を検討します。
- ▶ 二俣川ニュータウン地区の住民の防災・防犯意識の向上をすすめます。
- ▶ 「町内会」が、犯罪のないまちを目指して防犯灯・防犯カメラなどの設置に取り組みます。
- ▶ 二俣川ニュータウン駐在所と協力し、パトロール等の防犯活動の充実をはかります。

#### 活動の紹介

##### ● 「チョコレートしえんたい」活動

2007年第1期計画の事業として発足。65歳以上の要援護高齢者や障害者世帯を対象に民生委員・児童委員と連携し、庭木の手入れ（剪定・草刈り・芝刈り）・ごみ処理・家具の移動固定など、生活の困りごとをお手伝いする活動を行っています。多くの依頼があり、高齢化が進む二俣川ニュータウン地区にはなくてはならない活動となっています。

現在、サポーターを募集中です。



##### ● 「黄色い旗」「災害時ご近所集合場所」の取組

2012年から第二町内会で、発災時の安否確認のため黄色い旗を各家庭で掲示する取組が始まり、その後、他町内会にも広がりました。2024年には、連合町内会の防災訓練として全町内会で、「黄色い旗」の掲示を実施しました。

また、町内会の班ごとに「災害時ご近所集合場所」のプレート掲示に取り組むなど、地区全体で日頃から災害時の備えをすすめています。

この防災訓練には、中沢小学校・旭中学校の児童・生徒も参加しています。



#### 推進体制

二俣川ニュータウン地区福祉懇談会…連合町内会、地区社会福祉協議会、

民生委員児童委員協議会、保健活動推進委員会、かがやき（老人）クラブ連合会、青少年指導員連絡協議会、小・中学校PTA、子育てサロン、ボランティアグループ連絡会、地域防災拠点